



沼津市文化財 センター通信

2020年7月発行



沼津市文化振興課公式FB

Vol.3



沼津の海と人とのかわり

沼津市は海岸線が約 63km と長く、今も海とかかわっている人は少なくありません。漁師や養殖業、水産加工業はもちろん、海の幸を提供するレストランや食堂、観光客や釣り人を迎える民宿などが多く存在することから、沼津は海と関係が深い街といえます。これは昔も同じです。ここでは2つの例を紹介し



丸木舟スギメ本番航海
(画像提供：国立科学博物館)

ひとつめの例は約 37,000 年前の旧石器時代の例です。最新の研究では日本列島へやってきた人々は船に乗ってやってきた可能性が高いと考えられています。また伊豆半島の周辺にやってきた人の中には、石器に使用するための石材を手に入れるため、伊豆の島へ海を渡って採りに行っています。危険な旅であったかもしれませんが、やみくもであったわけではありません。彼らは体験や知恵を総動員して天候や潮の流れを読んだうえで、何度も島へ渡ったと考えられます。

もうひとつの例は内浦長浜・重須にある国指定史跡長浜城跡です。ここは戦国時代の北条氏の水軍の基地で、大規模な船団が集まりました。地元の漁師たちも戦いに参加したようですが、彼らは普段から北条氏に仕え、漁を行ってタイやエビ、タコなど毎日のおかずを当時北条氏の拠点のひとつであった韮山に届けたり、海水から塩を作ったり、駿河湾を渡って現在の静岡市の方に荷物を届けたりもしていたと古文書には書かれています。御用邸記念公園内にある歴史民俗資料館には、戦国時代の漁と共通点がある伝統的な内浦の漁師の道具が展示されています。大きな網を使った特徴的な漁法で、その道具は重要有形民俗文化財にも指定されています。



戦国時代の軍船の模型

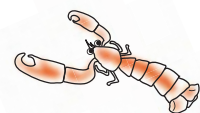
感じてみよう 海のあれこれ

上記の2つの例と関連したワークショップを2つ企画しました。

ひとつは長浜城跡を様々な視点で探検してみようというものです。城は戦国時代ですが、ここは歴史だけでなく、豊かな海岸環境や地質も見どころです。昨年にはこれまで絶滅したと考えられていたオオスナモグリという生物が、この辺りの干潟で見つかったと話題になりました。

もうひとつは旧石器時代の人たちのように丸木舟を体験してみようというものです。このワークショップでは講師として手漕ぎ舟のシーカヤックで日本一周などを達成された冒険家と旧石器時代を研究する考古学者が皆さんを待っています。さまざまな体験談もお話いただく予定です！

ワークショップへの申し込みは裏面をご覧ください。



オオスナモグリ



丸木舟実験航海 台湾の海にて
(鈴木克章氏提供)



イベント

長浜城跡探検



- 日時 8月8日(土) 13時～16時
- 集合 長浜城跡(現地集合・解散) ※Pあり
- 内容 長浜城跡散策→海岸散策・生き物観察
- 対象 市内の小学校5・6年生、中学生
(いずれも要保護者同伴)
- 定員 30名(保護者含む)
- 参加料 1人につき300円
(傷害保険、資料代)
- 申込み 7月15日(水)9時から
7月31日(金)17時まで
- 参加者名(ふりがな)・年齢・生年月日・性別・
住所・電話番号を明記のうえ
- 下記のFAX、メールにて
- ※多数の場合は抽選とします



イベント

いにしへの航海を体験しよう!

- 日時 9月20日(日) 10時～16時
- 集合 文化財センター ※Pあり
- 内容 冒険家 鈴木克章氏と考古学者 池谷信之氏に
よる講演と丸木舟乗船体験
- 対象 市内の小学校5・6年生、中学生
(いずれも要保護者同伴)
- 定員 20名(保護者含まず)
- 参加料 1人につき300円(傷害保険、資料代)
- 申込み 8月11日(火)9時から
8月28日(金)17時まで
- 参加者名(ふりがな)・年齢・生年月日・性別・住所・
電話番号を明記のうえ、下記の
- FAX、メールにて
- ※多数の場合は抽選とします



水の中にも遺跡があった!?

遺跡と聞くと、みなさんはどういうものを思いうかべますか? お城や古墳などでしょうか。これら遺跡の多くは陸上で見つかります。ですが、遺跡は水の中(海、川、湖など)でも見つかるのです。

それが、最近注目を浴びている「水中遺跡」です。風によって沈んだ船、地震や津波によって埋もれた港や集落などがこれにあたります。

例えば駿河湾には、150年以上前のロシア船ディアナ号が今も沈んでいます。このほか、沼津市西浦江梨の海岸では、江戸城を造るために切り出した石が見つかることから、ここから船に石をのせた可能性があります。これも水中遺跡といえるでしょう。

陸上にはたくさんの遺跡がありますが、水中はまだ未知の世界。沼津の海や川の中にも新たな発見があると思うとわくわくしませんか?



海岸に残された石と加工の痕

案内図



沼津市文化財センター

展示室見学 平日9時00分から16時30分
(土・日曜日、祝日、年末年始はお休み)

見学無料

〒410-0106 静岡県沼津市志下530

TEL 055-935-5010 / FAX 055-933-1270

沼津市教育委員会文化振興課 文化財企画係・文化財調査係

E-mail cul-bunkazai@city.numazu.lg.jp

